

旧門司税関

Old Moji Customs Bldg.



旧門司税関の歩み

門司税関の前身である長崎税関門司出張所が門司港に開設されたのは、明治18年のことです。その後、門司長崎税関支署となり、明治42年には長崎税関から独立して門司税関となりました。

この建物は門司税関2代目庁舎として明治45年に竣工したものです。

竣工から15年後の昭和2年、門司税関が新設された合同庁舎に移ったのを機に、その役目を終えました。

昭和8年に民間に払い下げられて以降、事務所ビル、そして倉庫へと転用されました。そのような歩みの中で、両翼部が取り壊されたり、大きな搬入口が設けられたりといった改造によって、建設当時の姿とは大きく変わっていききました。

しかし、平成5年から6年にかけての復元改修工事により、威厳と風格に満ちた当時の姿を見事に取戻し「旧門司税関」として現在に蘇りました。門司港の歴史的建築物の中でも、現存する数少ない明治期のレンガの建物であり、門司港レトロの中心的建築物の一つとなっています。

イベントホールのご利用について

当館、1階及び2階は休憩室として開放しております。2階は貸ホール(有料)としてもご利用になれます。年間を通してコンサートや絵画展など多くのイベントでご利用いただいております。ご予約・お問い合わせは門司港レトロ総合インフォメーションまで。

アクセス



時代と共に刻まれた歴史の跡

ひとたび建物の中に足を踏み入ると、重厚なレンガの壁が何かを語りかけてくるようです。

館内のレンガ壁には、至るところに焼け焦げた木片が埋め込まれています。これは、レンガのひび割れを防ぐクッションの役割をする木レンガで、昭和20年の門司大空襲によって屋根が焼け落ちた際の爪跡です。

海側に張り出していた両翼部が取り壊されていたことで建物全体にひび割れが生じていました。この補修には、広島から専門の職人を招いて、原爆ドームを復元した特殊な技術を導入しています。また、両翼部のレンガ壁を見てみると、竣工当時の明治のレンガと、復元された平成のレンガの違いをはっきりと見ることが出来ます。明治のレンガは現在よりも一回り大きく、復元には特注のレンガが使用されています。明治から大正、昭和、平成、令和へ...

1世紀以上にも渡る時代の痕跡を今に伝えています。



- 鹿児島本線「門司港駅」下車・・・徒歩5分
 - 関門連絡船「門司港棧橋」より・・・徒歩5分
 - 関門自動車道「門司港IC」より・・・車で10分
 - 北九州都市高速「春日ランプ」より・・・車で5分
 - 九州自動車道「門司IC」より・・・車で12分
- ※車でお越しの方は近隣の駐車場をご利用ください。

所在地：〒801-0853 福岡県北九州市門司区港町1-24

T E L : 093-321-4151(門司港レトロ総合インフォメーション)

開館時間：9:00～17:00

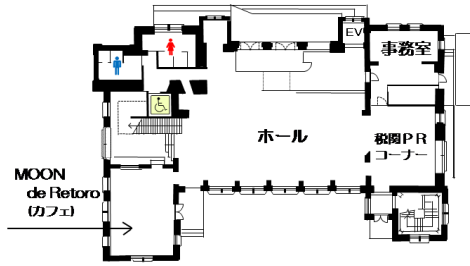
休館日：なし

駐車場：なし

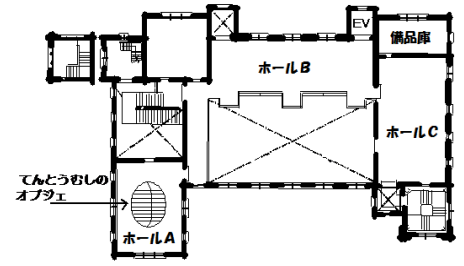
建物概要

構造：レンガ造
(内部木造) 2階建
敷地面積：1476.46 m²
建築面積：546.76 m²
延床面積：907.00 m²
1階部分：528.32 m²
2階部分：364.32 m²
ペントハウス：14.36 m²
(3階展望室)

【1階】



【2階】



◆設計者

さくじゅえいいち
咲壽栄一…明治42年、東京帝国大学工科大学建築家卒業。
大蔵省臨時建築部技師となる。主な作品に岐阜県庁舎がある。

◆指導

つまきよりなか
妻木頼黄…明治17年、コーネル大学卒業。大蔵省臨時建築部長 兼 大蔵官房営繕課長を歴任、官僚建築家として活躍。
主な作品として、東京・日本橋のデザインや横浜新港埠頭倉庫、横浜正金銀行本店などが挙げられる。

みどころ
1

1階エントランスに流麗な模様のシャンデリアが、また、2階ギャラリーには鉄製の飾り格子が取り付けられています。これらは昭和2年建設の合同庁舎の貴賓室で使用されていたものを譲り受けたものです。



みどころ
3

1階の公衆電話がある部屋の壁には天井近くまで白い粉のようなものが付着しています。これは吹き付ける海風で潮が結晶化して壁の内側に浮き出しているものです。長い年月海の側に建っているレンガ建築ならではの現象です。

みどころ
4

2階に「てんとう虫の部屋」と呼ばれる部屋があります。中央の丸いオブジェがその名前の由来です。実は、このオブジェはてんとう虫をモチーフとした“イス”なのです。ユニークな椅子に腰かけて、しばし休憩をお楽しみください。



みどころ
2

平成5年の復元工事の際、取り壊されて吹き抜けとなっていた内部に独立した木造の2階建てを建設し、床を壁から6cm離して地震の揺れが直接レンガ壁に伝わらないように工夫されています。木の柱だけで2階を支え内部だけが2階建てという珍しい造りです。



1階 MOON de Retoro

白い壁と窓から望む海が異国情緒を漂わせる可愛いカフェです。新鮮な果物をふんだんに使ったメニューをご用意いたしております。レトロ散策の途中のホッと一息にぜひご利用くださいませ。

3階 展望室

3階は小さな展望室になっています。かつては港を出入する船の見張り台として使用されていました。関門海峡を行き交う船や跳ね橋の昇降を一望できます。

1階税関PRコーナー

取り締りで没収された偽ブランド品や麻薬密輸の手口などの紹介のほか、ワシントン条約により日本への持ち込みが規制、もしくは禁止されているものを展示しています。

皆様のお越しをお待ちしています！



税関イメージキャラクター・カスタムくん